

母性看護学【母性看護技術】

担当教員	土谷 奈保子	所属	専任教員
対象学年/開講時期	第2学年/後期	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的 周産期における母児の看護に必要な援助方法を習得する。			
授業の形式 課題学習(グループワーク)、演習形式で行う。			
成績評価の基準等 出席・課題学習・レポート・授業態度・発表・演習状況・事例における看護計画の立案状況等で総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書名	発行所
①	看護学テキスト NICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 母と子そして家族へのよりよい看護実践	南江堂
②	カラー写真で学ぶ 新生児の観察と看護技術	医歯薬出版

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員	
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション	①②	土谷	
第2回	周産期における 保健指導	1) 妊婦健康診査	①②		
第3回 第4回		2) 妊娠期の保健指導(GW)	①②		
第5回 第6回		3) 母乳育児支援	①②		
第7回		4) 新生児の看護技術演習 オリエンテーション 全身の観察、児の抱き方、更衣、 おむつ交換、沐浴	①②		
第8回 第9回		5) 産褥期の保健指導(見学)	①②		
第10回 ～ 第12回		事例における 看護計画の立案	6) ケースカンファレンス 個人演習・グループワーク		①②
第13回 ～ 第15回		周産期における 看護技術	7) 個人看護技術演習 妊婦の外診、妊婦体験、沐浴、 新生児の計測、調乳		①②

*この科目は、実務経験のある教員による科目です。